

日頃から防災意識を高めていただくために

～平成26年度 長田区総合防災訓練～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

神戸市で豪雨が降り、大雨・洪水警報および土砂災害警戒情報が発令されたことを想定し、平成26年度長田区総合防災訓練が行われました。

六甲砂防事務所では、模型による土石流実験やパネル展示を行い、土砂災害の心構えについて説明しました。

概要

日時：平成26年11月29日（土）

9：30～11：30

場所：神戸市立丸山中学校

主催：長田区



○模型による土石流実験と身近な場所の過去の土砂災害



前日からの雨で足元の悪い中、模型を使った土石流実験を行い、土砂災害の怖さや被害の大きさ、砂防えん堤の役割について説明しました。

参加者からは「えん堤を造っても、一度土砂が溜まってしまうと、効果がなくなってしまうのでは？」という質問がありました。砂防えん堤に土砂が溜まっても効果がなくなるわけではなく、溜まった土砂によって傾斜が緩やかになること

で、土石流の勢いを弱め、土石流による被害を抑制することを説明しました。

パネル展示では、今年8月の台風11号による六甲山地の山腹崩壊の写真を中心に、阪神大水害（昭和13年）などの過去の土砂災害による被害写真の展示を行いました。

また、身近な場所で被害が発生する可能性があることを日頃から確認し、大雨などによって災害が起こる可能性がある時には、早めの避難が大切なことを説明しました。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535